

貸 借 対 照 表			
2 0 2 3 年 3 月 3 1 日			
(単位 円)			
資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	(18,050,154,040)	流 動 負 債	(17,285,368,796)
現金及び預金	1,815,733,236	短期借入金	3,600,000,000
未 収 金	10,061,198,963	未 払 金	2,622,242,947
未 収 収 益	155,326,340	加盟店未払金	10,425,816,074
貸 付 金	197,097,008	未払法人税等	90,750,300
求 償 債 権	25,978,703	未払消費税等	9,951,800
立 替 金	5,900,463,736	未 払 費 用	168,634,788
商 品	68,100	仮 受 金	409,706
貯 蔵 品	6,822,805	預 り 金	15,787,550
前 払 費 用	2,633,795	前 受 収 益	140,947,572
仮 払 金	12,535,225	賞 与 引 当 金	17,679,200
貸 倒 引 当 金	△ 127,703,871	販売促進引当金	184,194,628
		利息返還損失引当金	8,954,231
固 定 資 産	(8,871,495,521)		
有形固定資産	(3,950,967)	固 定 負 債	(1,323,931,389)
建 物	635,134	繰 延 税 金 負 債	1,284,947,989
器 具 備 品	1,565,233	退職給付引当金	35,863,400
一括償却資産	1,750,600	役員退職慰労引当金	3,120,000
無形固定資産	(46,610,434)	負 債 合 計	18,609,300,185
ソフトウェア	6,773,852		
電話加入権	1,596,582		
の れ ん	38,240,000		

科 目	金 額	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
投資その他の資産	(8,820,934,120)	株 主 資 本	(5,084,736,278)
投資有価証券	8,814,160,357	資 本 金	30,000,000
その他投資等	6,773,763	資 本 剰 余 金	(30,000,000)
		資 本 準 備 金	30,000,000
		利 益 剰 余 金	(5,024,736,278)
		利 益 準 備 金	15,000,000
		その他利益剰余金	(5,009,736,278)
		別 途 積 立 金	4,600,000,000
		繰越利益剰余金	409,736,278
		評価・換算差額等	(3,227,613,098)
		その他有価証券評価差額金	3,227,613,098
		純 資 産 合 計	8,312,349,376
資 産 合 計	26,921,649,561	負債及び純資産合計	26,921,649,561

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

A 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。)

B 時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しています。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産 法人税法の規定による旧定率法又は定率法を採用しています。ただし、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備については定額法により償却しています。

② 無形固定資産 法人税法の規定による定額法を採用しています。なお、のれんについては5年間の定額法により償却しています。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による貸倒実績率により計上しています。

② 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

③ 販売促進引当金 販売促進費の支出に備えるため、支出見込額の当期負担分を計上しています。

④ 利息返還損失引当金 利息返還の支出に備えるため、支出見込額の当期負担分を計上しています。

⑤ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額により計上しています。

⑥ 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しています。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

② 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

③ 税効果会計の適用

法人税、住民税及び事業税について税効果会計を適用しております。なお、繰延税金資産又は繰延税金負債の計算にあたり適用した法定実効税率は30.5%であります。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式数	前期末株式数	当期末株式数
普 通 株 式	71,526 株	71,526 株

(2) 配当に関する事項

① 配当支払額

A 決議の日	2022 年 6 月 27 日
B 株式の種類	普 通 株 式
C 配当金の総額	4,291,560 円
D 配当原資	利益剰余金
E 1株当たり配当額	60 円
F 基準日	2022 年 3 月 31 日
G 効力発生日	2022 年 6 月 28 日

② 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

2023年 6月 28日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案を予定しております。

A 配当金の総額	4,291,560 円
B 1株当たり配当額	60 円
C 基準日	2023 年 3 月 31 日

D 効力発生日 2023 年 6 月 29 日

なお、配当原資については、利益剰余金とすることを予定しております。

3. その他の注記

(1) 繰延税金資産・負債の発生の主な原因別の内訳

① 貸倒引当金	25,992,008 円
② 賞与引当金	5,392,156 円
③ 販売促進引当金	56,179,359 円
④ 利息返還損失引当金他	10,075,807 円
⑤ 退職給付引当金	10,938,337 円
⑥ 役員退職慰労引当金	951,600 円
⑦ 投資有価証券	48,337,520 円
⑧ 繰延税金資産合計	157,866,787 円
⑨ その他投資有価証券	1,416,434,524 円
⑩ 差額負債調整勘定	26,380,252 円
⑪ 繰延税金負債合計	1,442,814,776 円
⑫ 繰延税金資産相殺額	157,866,787 円
⑬ 繰延税金負債の純額	1,284,947,989 円
(2) 有形固定資産の減価償却累計額	15,072,583 円
(3) キャッシングリボ極度額未実行残高	9,542,396,671 円
(4) キャッシング一括極度額未実行残高	11,748,668,064 円

(5) 企業結合等関係

共通支配下の取引等

① 取引の概要

A 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称：㈱群馬銀行のクレジットカード会員事業

事業の内容：JCBブランド及びVISAブランドの個人向けクレジットカード会員業務

B 企業結合日

2022年4月1日

C 企業結合の法的形式

㈱群馬銀行を分割会社とし、当社を承継会社とする吸収分割

D 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

E その他取引の概要に関する事項

㈱群馬銀行が保有していたクレジットカード会員事業を当社に吸収分割すること
で、同事業の拡大及び群馬銀行グループの業務の効率化を図るものであります。

② 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業
結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指
針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。